

## 食品の機能性表示解禁から1年 健康食品と医薬品の違いとは？ 理解不足が明らかに ～ 健康食品・医薬品の知識と意識に関する調査を実施～

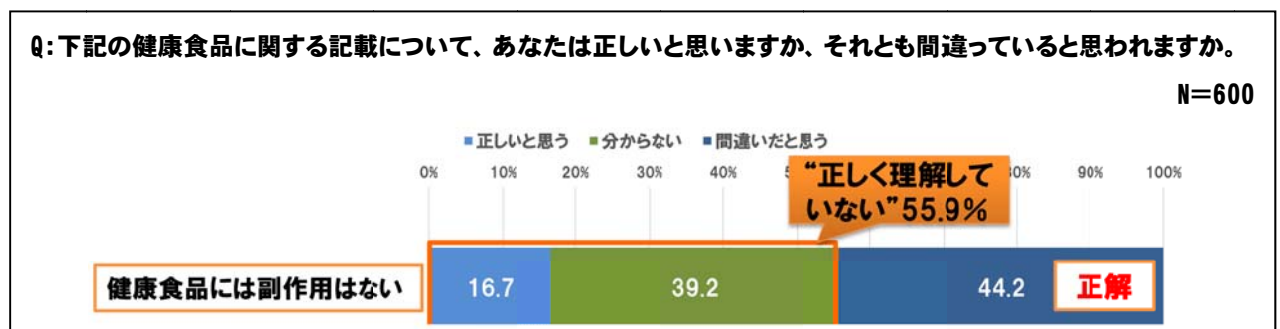
一般社団法人 くすりの適正使用協議会（東京都・中央区、理事長：黒川 達夫）は「健康食品・医薬品の知識と意識に関する調査」（インターネット調査、一般成人男女600名対象）を実施しました。

この調査は、食品の機能性表示が平成27年4月に解禁されてから約1年が経過し、医薬品と似た機能を掲げた食品・サプリメントが増えていることから、一般の方々の、機能性表示食品を含む健康食品と医薬品の知識と意識の実態を明らかにするために行ったものです。

### 1. 主な調査結果

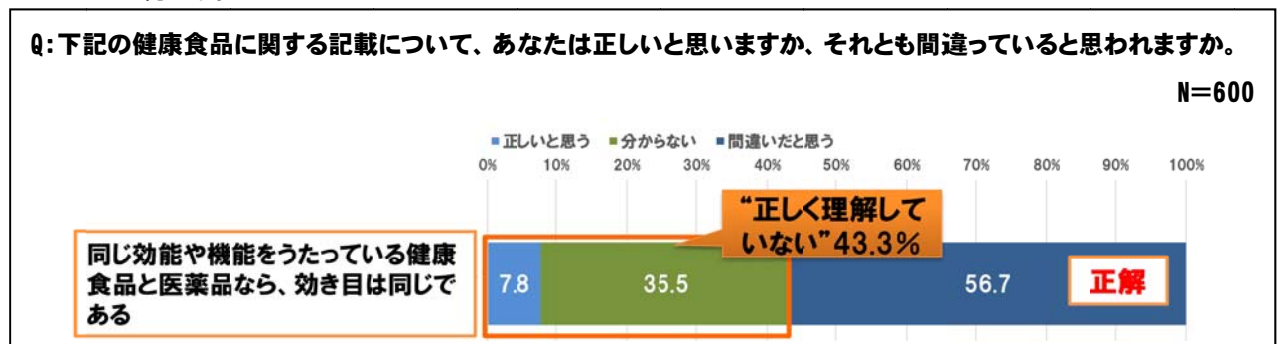
#### ① 健康食品の副作用に関する理解

- 健康食品に「副作用がある」ことを理解していない人が半数以上



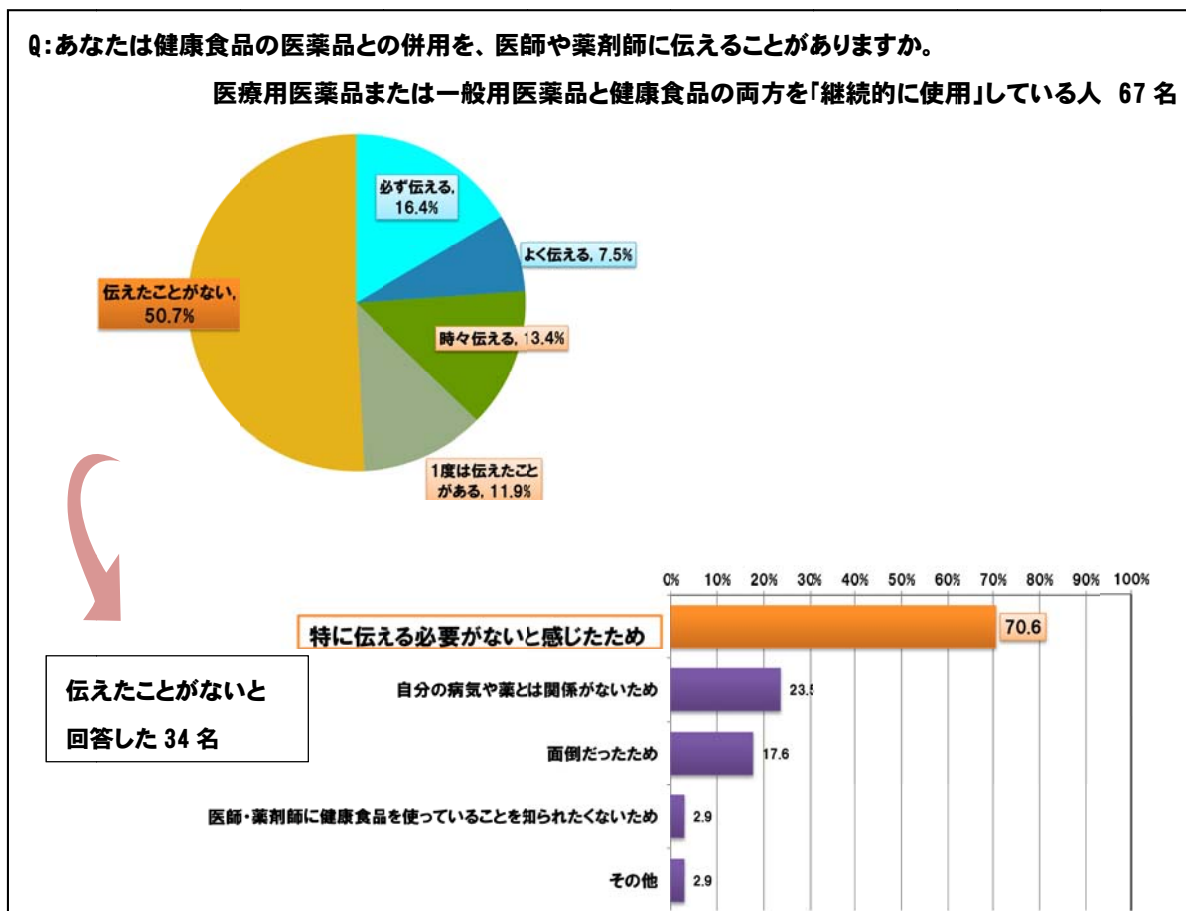
#### ② 健康食品の効き目に関する理解

- 同じ効能や機能がうたわれていても、健康食品と医薬品では「効き目が違う」ことを理解していない人が約4割



### ③ 医療関係者とのコミュニケーションについて

- 2人に1人が、健康食品と医薬品の併用を医療関係者に伝えたことがない。その主な理由は「特に伝える必要がないと感じたため」



## 2. その他の調査結果（抜粋）

### ① 機能性表示食品の理解

- 機能性表示食品の意味を「理解していない」人が約7割
- 機能性表示食品の使用経験があると答えた人を対象に、利用した機能性表示食品を回答してもらったところ、特定保健用食品（トクホ）等の「機能性表示食品以外を回答した」人が8割以上

### ② 健康食品の摂取目安量の認知

- お茶やヨーグルトなどの健康食品にも摂取目安量があることを知らない・気にしたことがない人は約7割。さらに使用経験があると回答した人の約6割が目安量を越えて摂取している可能性

## 3. 調査結果をうけて

今回の調査から、健康食品全般及び機能性表示食品、そして健康食品と医薬品との違いに関する理解はまだまだ低いことが分かりました。また医薬品との併用時には相互作用の可能性があるので注意が必要ですが、その認識も弱いことが浮き彫りになっています。

医薬品は、病気やケガの治療のために用いるものです。不要な健康被害などを起こさず、医薬品の治療効果を高めるためにも、健康食品を同時に摂取する場合には、健康食品に対する正しい知識と理解が欠かせません。そのうえで本当に必要なのかを考え、医療関係者にも確認しながら、確かな製品を適切に利用する賢さが必要であり、そのための活動を進めたいと協議会では考えています。

## 【調査概要】

調査手法： インターネット調査 （ネオマーケティング）

調査期間： 2016年2月5日（金）～2016年2月8日（月）

調査対象者： 全国の20代-70代の男女600名（各年代100名ずつ）

（各年代 機能性表示食品使用経験があると回答した者50%を含む）

## 【全調査結果及び本ニュースリリース（電子媒体）】

当協議会ホームページをご参照ください。<http://www.rad-ar.or.jp/information/pdf/nr15-160309.pdf>

## ■一般社団法人 くすりの適正使用協議会とは

一般社団法人 くすりの適正使用協議会は、くすりのリスクとベネフィットを検証し、社会に提示することで患者さんのメリットに寄与することを目的に、1989年に当時の研究開発指向型製薬企業11社によって設立されました。創設当初より、医薬品の本質を評価する学問「薬剤疫学」の普及、医薬品適正使用情報「くすりのしおり<sup>®</sup>」の提供など、医薬品の本質の理解促進と正しい使い方の啓発活動を行ってまいりました。

2012年度からは「医薬品リテラシーの育成と活用」をキーコンセプトに活動を行っています。

<http://www.rad-ar.or.jp>

【製薬企業会員】

旭化成ファーマ(株) アステラス製薬(株) アストラゼネカ(株) アッヴィ(同) エーザイ(株) 大塚製薬(株) キッセイ薬品工業(株) 協和発酵キリン(株) 興和(株) 塩野義製薬(株) サノフィ(株) 第一三共(株) 大正製薬(株) 大日本住友製薬(株) 武田薬品工業(株) 田辺三菱製薬(株) 中外製薬(株) 東和薬品(株) 日本新薬(株) ノバルティス ファーマ(株) ノボ ノルディスク ファーマ(株) マルホ(株) Meiji Seika ファルマ(株) （23社、五十音順）

【賛助会員】 シミック株式会社（1社）

【個人会員】（4名）

以上

【本件に関するお問い合わせ】 くすりの適正使用協議会 石橋/安井  
Tel:03-3663-8891 Fax:03-3663-8895 Mail:info@rad-ar.or.jp

# 調査概要

## 【健康食品・医薬品の知識と意識に関する調査】

- **調査目的**

- 一般生活者の健康食品、特に機能性表示食品に関する知識や意識について、機能性表示食品の使用経験の有無や、医薬品使用の有無の観点から明らかにする。

- **調査手法**

インターネット調査（ネオマーケティング）

- **調査期間**

2016年2月5日(金)～2016年2月8日(月)

- **調査対象者**

20代-70代の男女600名(各年代100名ずつ)

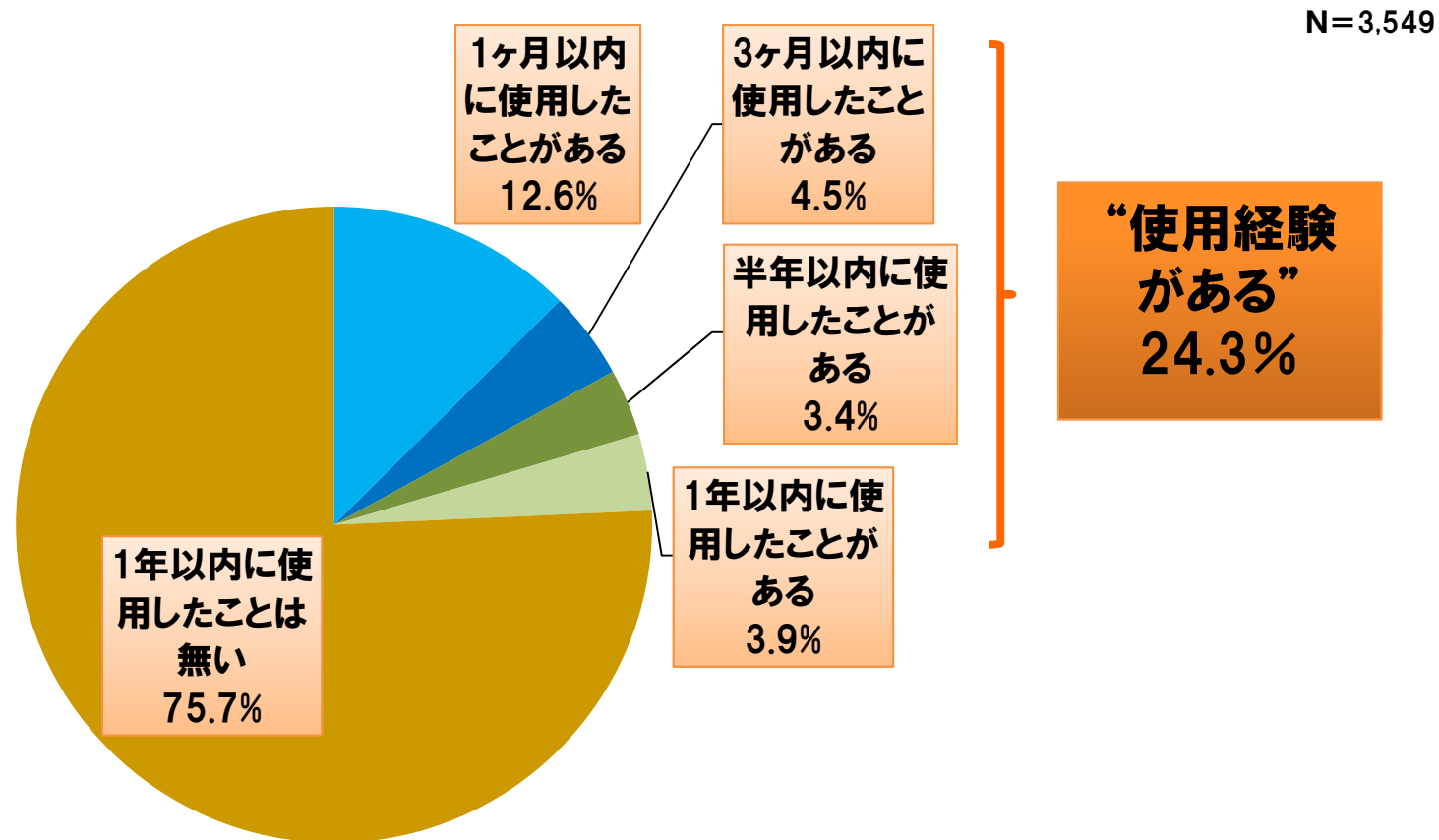
(各年代 機能性表示食品使用経験があると回答した者50%を含む)

- **調査対象地域**

全国

# スクリーニング調査では、 機能性表示食品の使用経験者は24.3%

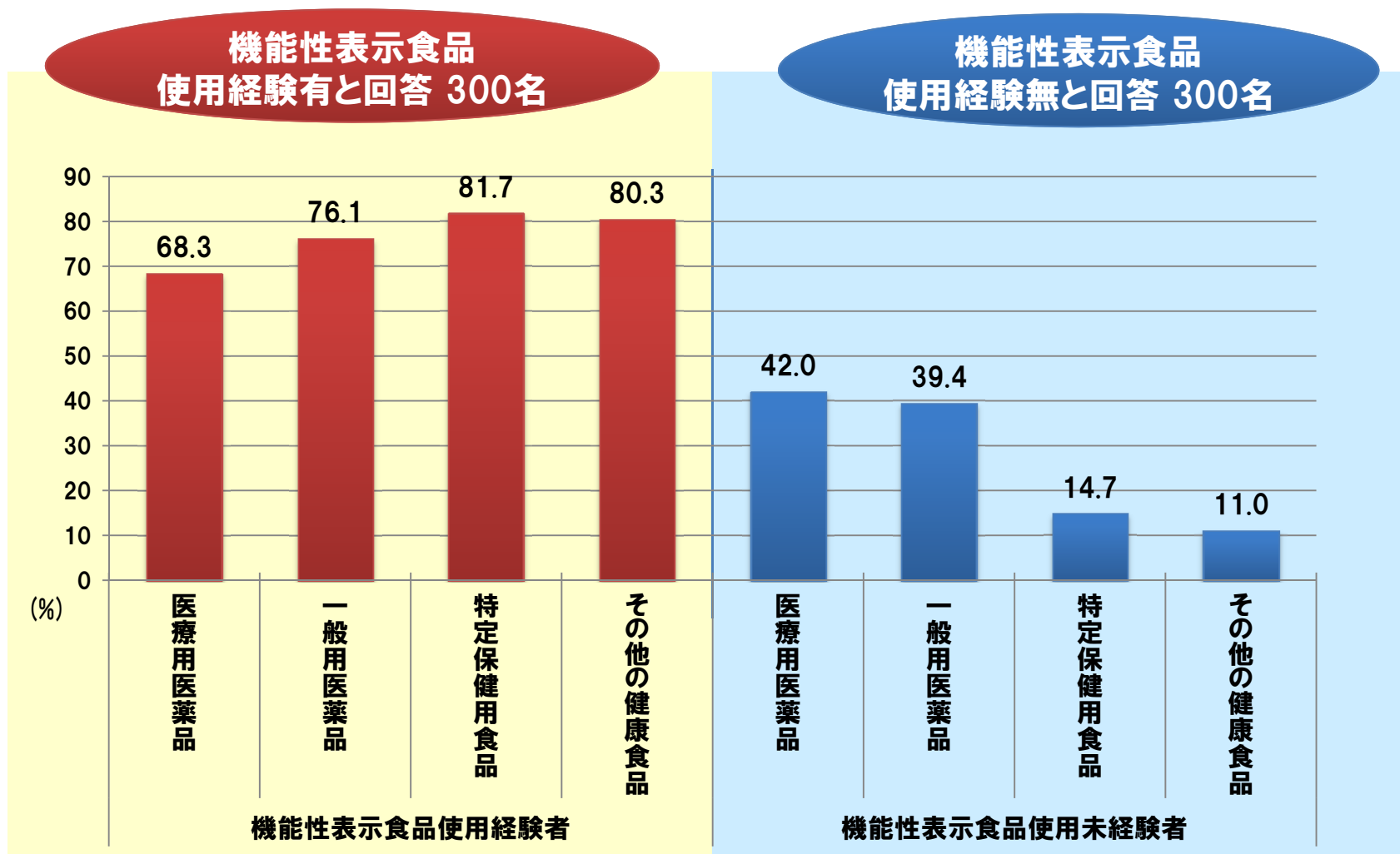
参考



調査に協力した20代-70代の男女3,549名から、かつ各年代で1年以内に機能性表示食品の使用経験があると回答した50名・使用経験がないと回答した者50名(合計100名)での割付を行い、600名を本調査の対象とした。

# 回答者600名のプロフィール (機能性表示食品と医薬品・健康食品との併用)

参考

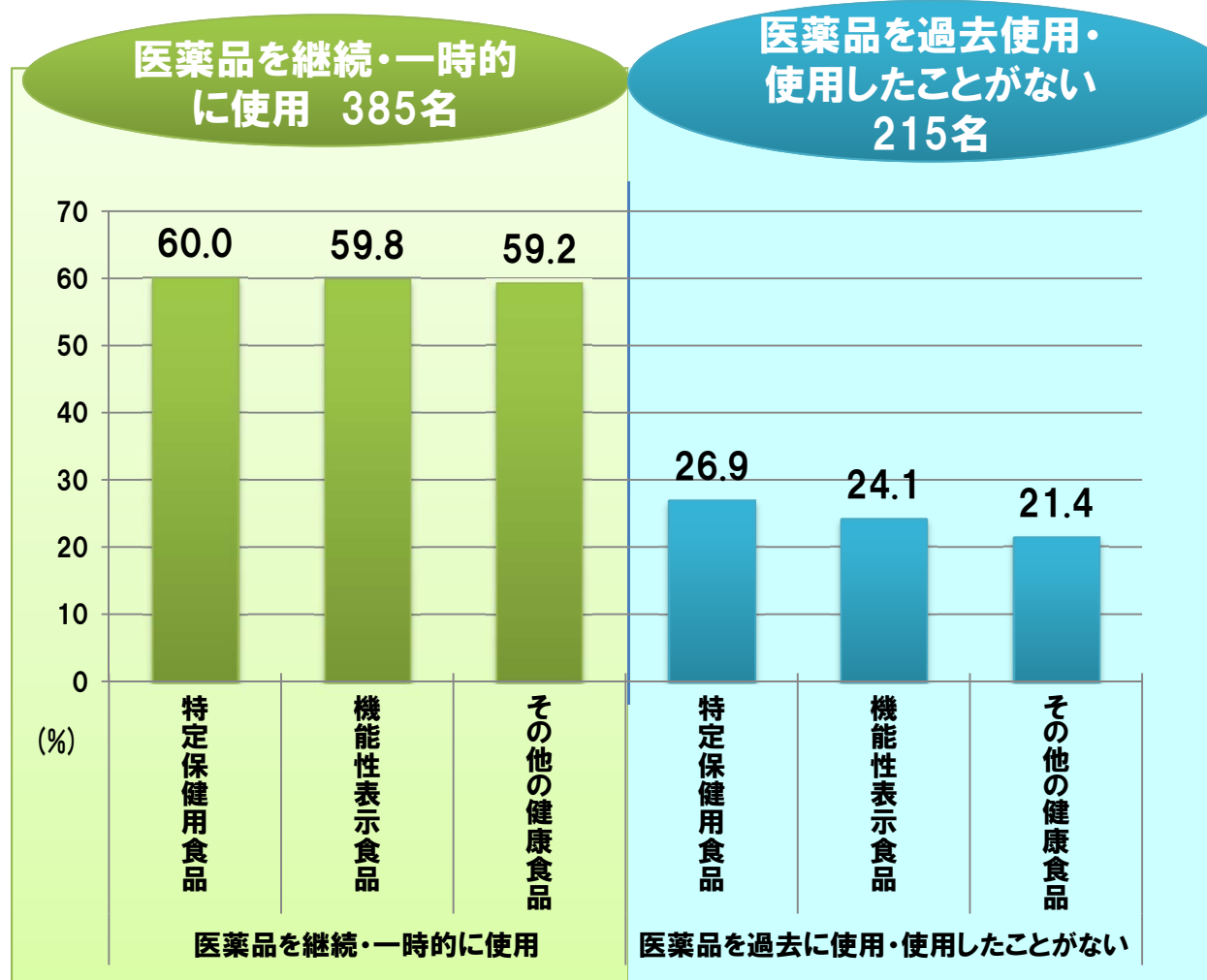


※数値は「継続して使用している」「一時的に使用することがある」人の合計

# 回答者600名のプロフィール

(医薬品と健康食品との併用状況)

参考



※数値は「継続して使用している」「一時的に使用することがある」人の合計

## 【健康食品に関する知識】

- ・健康食品には副作用がないと思っている人、または分からない人が半数以上
- ・健康食品と医薬品で効き目が違うことを理解していない人が約4割

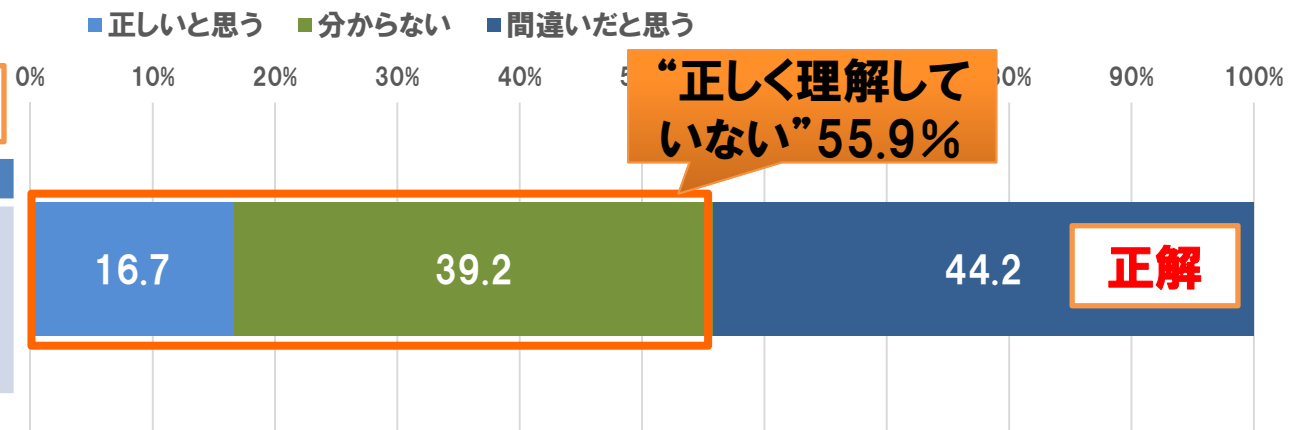
全体 600名

下記の健康食品に関する記載について、  
あなたは正しいと思いますか、それとも間違っていると思われますか。

※こちらでいう「健康食品」は、トクホ・機能性表示食品を始め、各種サプリメントなど、健康の保持増進に役立つとされるものを広く含みます。

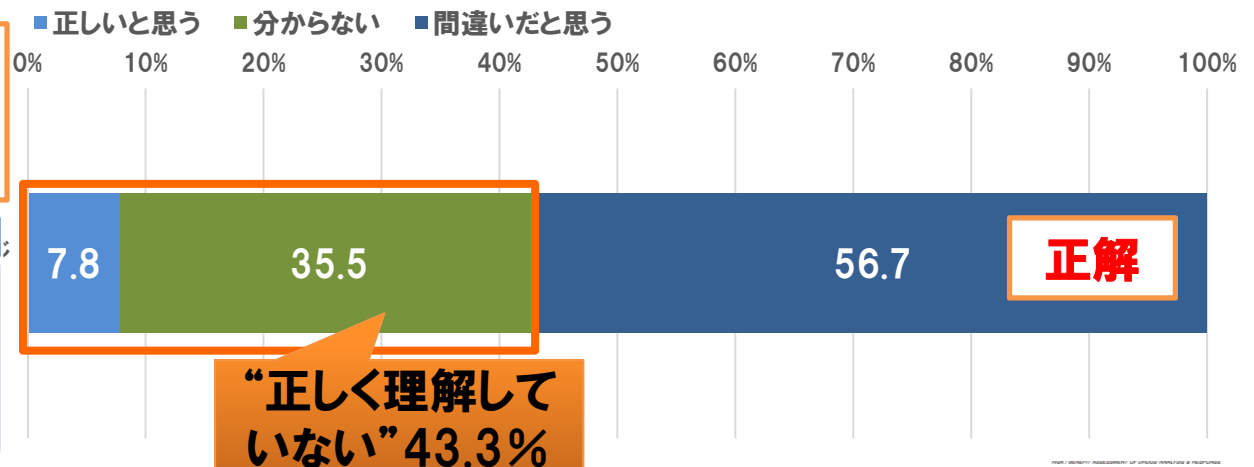
### 健康食品には副作用はない

正解率	あり	なし	全体
機能性表示食品の使用経験	49.0%	39.3%	44.2%
医療用医薬品・一般用医薬品の使用状況（継続・一時的）	49.1%	35.3%	



### 同じ効能や機能をうたっている健康食品と医薬品なら、効き目は同じである

正解率	あり	なし	全体
機能性表示食品の使用経験	62.7%	50.7%	56.7%
医療用医薬品・一般用医薬品の使用状況（継続・一時的）	63.1%	45.1%	





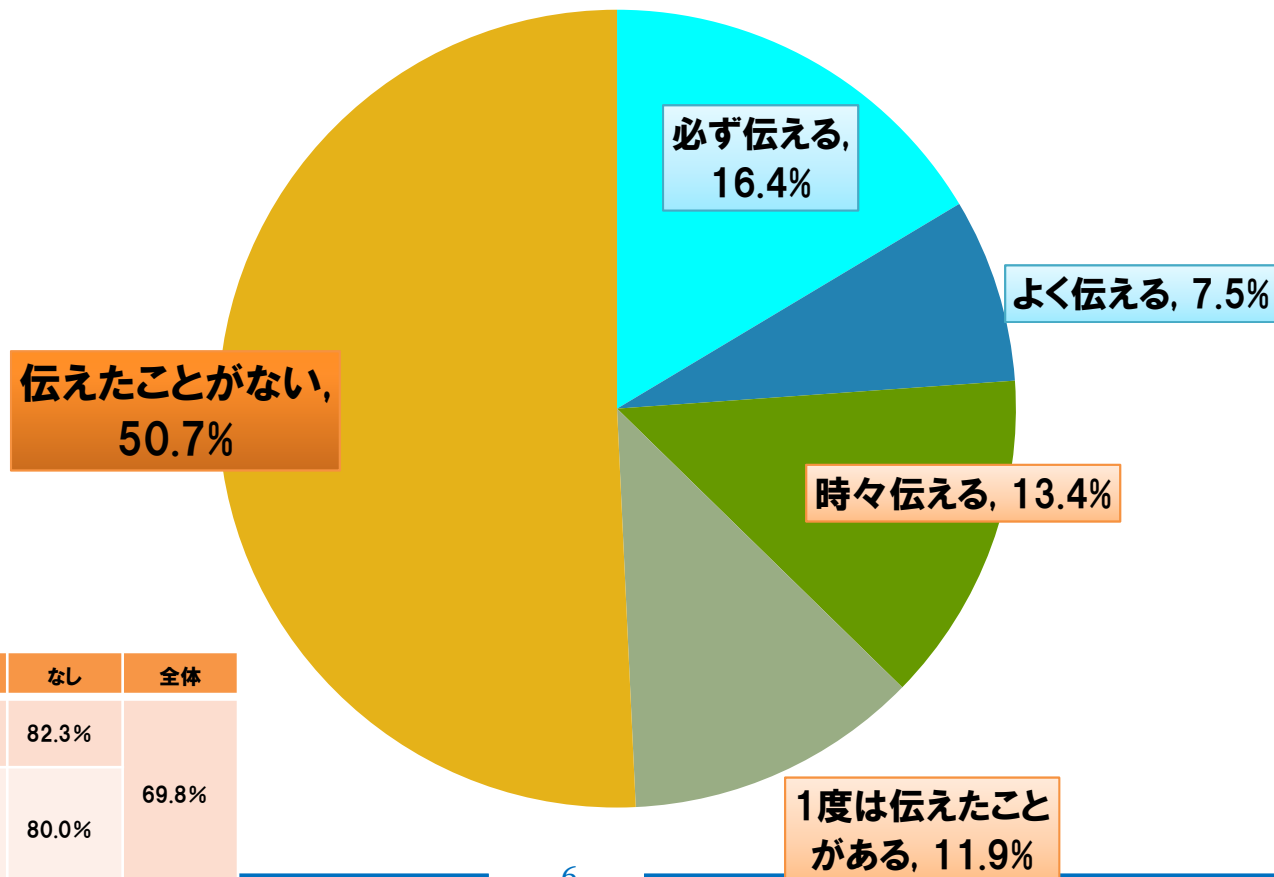
## 【健康食品と医薬品の併用】

・2人に1人が、  
健康食品と医薬品の併用を医療関係者に伝えたことがない

**（医薬品と健康食品の両方を継続的に使用している人）**

あなたは健康食品の医薬品との併用を、医師や薬剤師に伝えることがありますか。

医療用医薬品または一般用医薬品と健康食品の両方を「継続的に使用」している人 67名

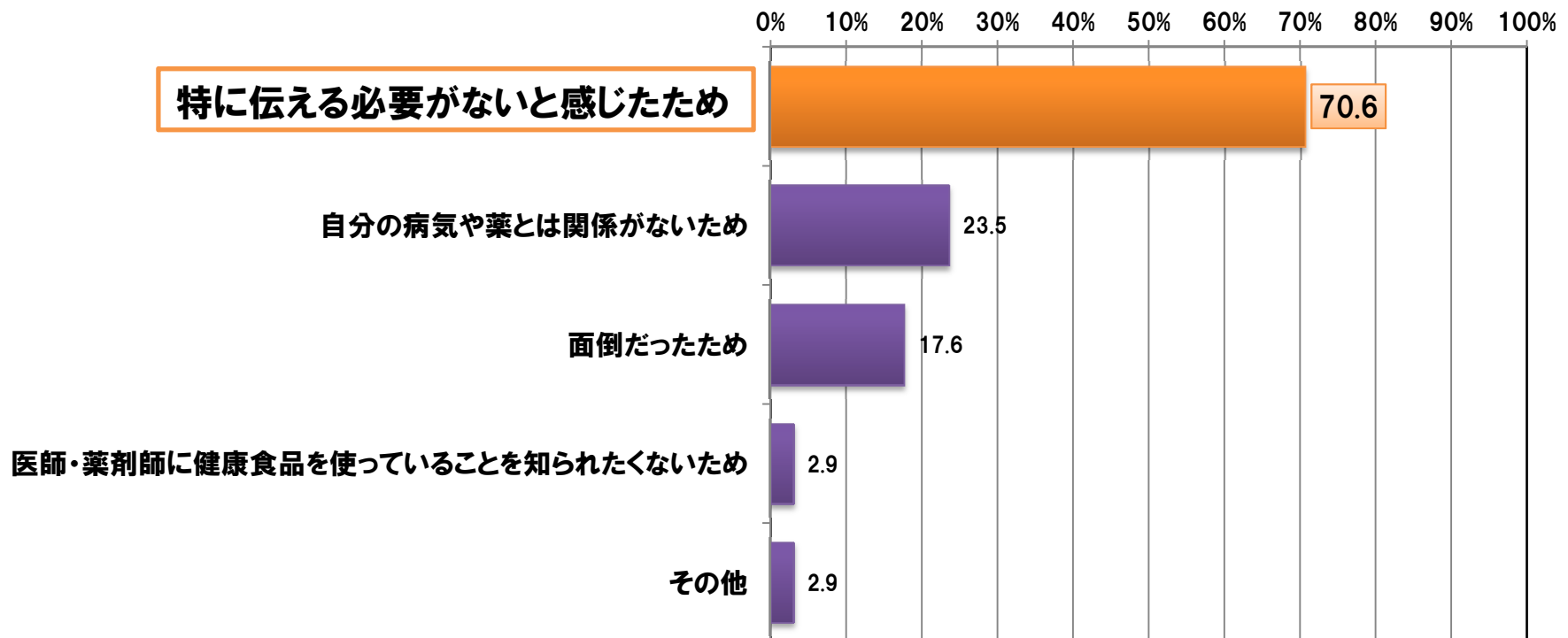


## 【健康食品と医薬品の併用】

- 健康食品と医薬品の併用を医療関係者に伝えない  
主な理由は「特に伝える必要がないと感じたため」

前問で健康食品の医薬品との併用を、医師や薬剤師に伝えないとお答えの方に  
お伺いします。その理由をお答えください。

医療用医薬品または一般用医薬品と健康食品の両方を「継続的に使用」しており、  
その併用について医師や薬剤師に伝えないと回答した人 34名



# 【機能性表示食品の理解】

・「機能性表示食品」の意味を正しく理解していない人が約7割

特定保健用食品(トクホ)/**機能性表示食品**について、  
それぞれ該当すると思われる意味をお答えください。

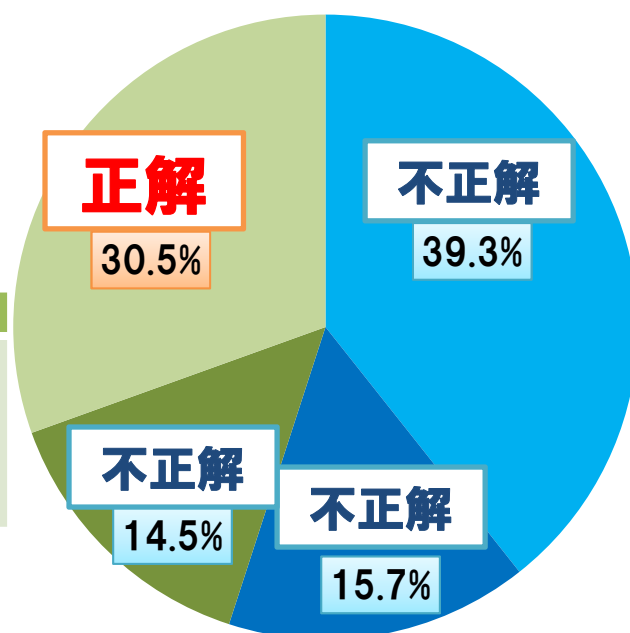
## 機能性表示食品

全体 600名

- 科学的根拠が確認された栄養成分(ビタミン・ミネラルなど)を一定の基準量含み、機能が表示された食品
- 国による審査で、科学的根拠に基づいて健康の維持促進に役立つことが認められている食品
- 医師による審査で、摂取することにより栄養補給の機能があると認められている食品

**正解:** ■ 事業者の責任において、科学的根拠に基づいて健康の維持促進に役立つことが示され、その情報を国に届け出をしてある食品

正解率	あり	なし	全体
機能性表示食品の使用経験	27.0%	34.0%	30.5%
医療用医薬品・一般用医薬品の使用状況(継続・一時的)	28.8%	33.5%	



“理解していない”  
69.5%

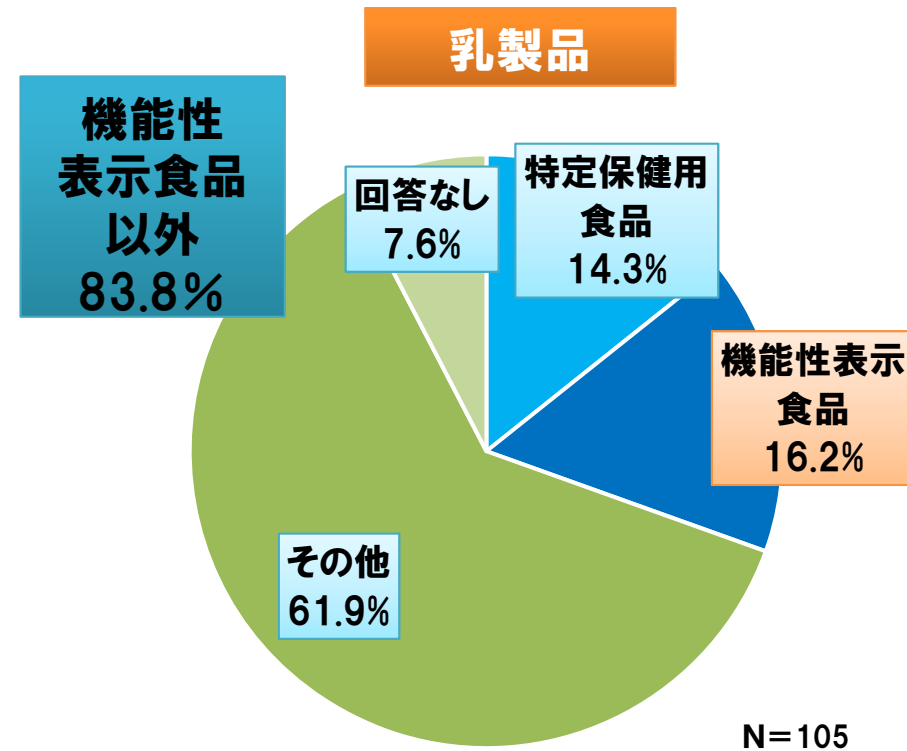
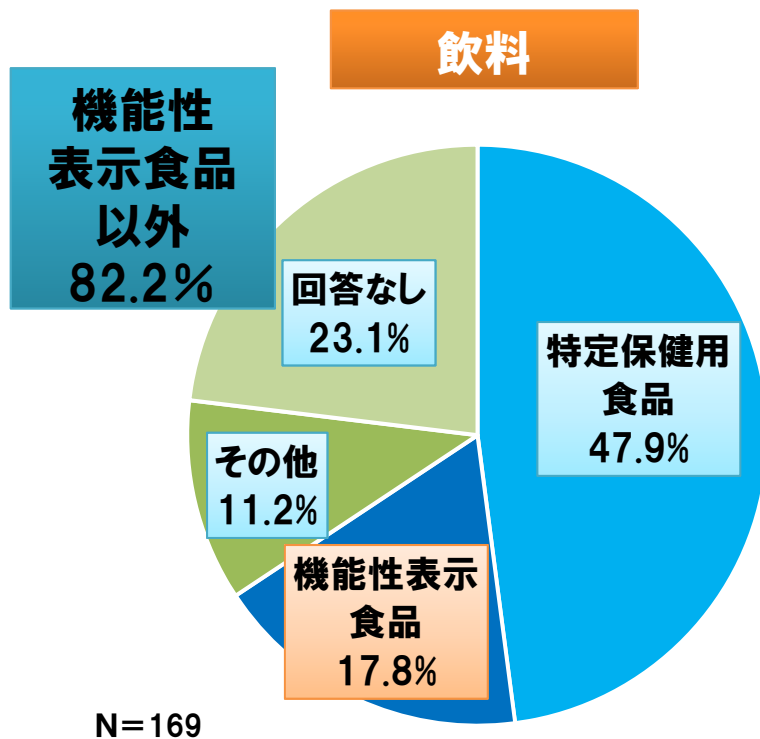
## 【機能性表示食品の認識】

- ・機能性表示食品の使用経験があると答えた人を対象に、利用した機能性表示食品を回答してもらったところ、トクホ等の「機能性表示食品以外を回答した」人が8割以上

機能性表示食品を使用した経験があるとお答えの方にお伺いします。機能性表示食品で使ったことがあるとお答えいただいた品目の、届出番号、または具体的な製品名をお答えください。  
(届出番号がわからない場合は、製品名だけお答えください) ※どうしても思い出せない場合は「なし」とご回答ください。

機能性表示食品  
使用経験有と回答  
300名

### 「機能性表示食品」として回答された品目を分類した結果

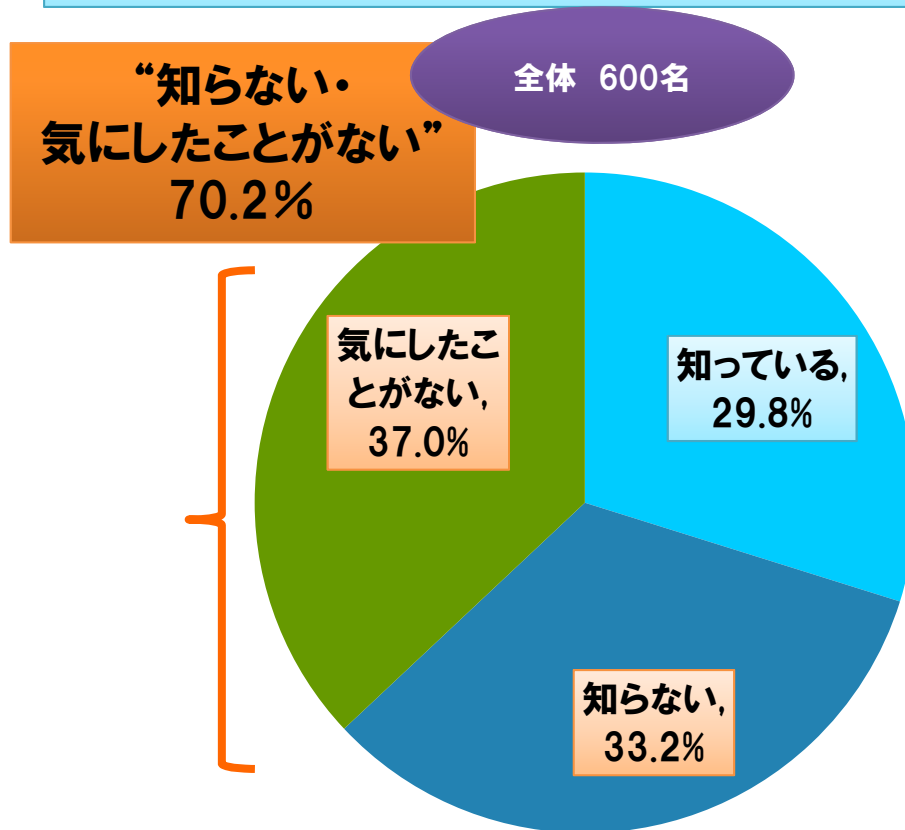


## 【健康食品の摂取目安量】

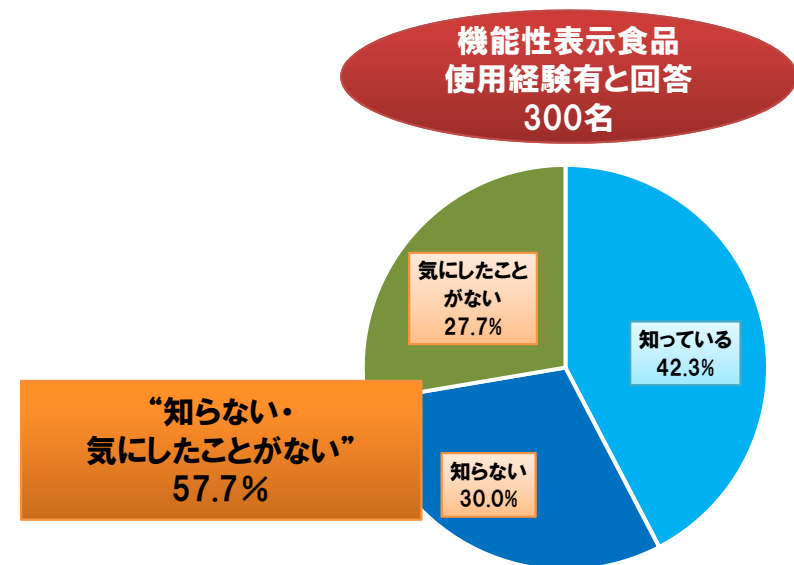
・お茶やヨーグルトなどの健康食品にも摂取目安量があることを知らない、もしくは気にしたことがない人が約7割、使用経験有でも6割に

あなたは健康食品は、錠剤・カプセル状の製品だけでなく、お茶やヨーグルトであっても、摂取する際の目安量があることを知っていましたか。

※こちらでいう「健康食品」は、トクホ・機能性表示食品を始め、各種サプリメントなど、健康の保持増進に役立つとされるものを広く含みます。



知っている	あり	なし	全体
機能性表示食品の使用経験	42.3%	17.3%	29.8%
医療用医薬品・一般用医薬品の使用状況 (継続・一時的)	37.1%	16.7%	



# 【健康食品の摂取目安量】

## ・健康食品の摂取目安量を超えて摂取している

### 可能性がある人が約6割

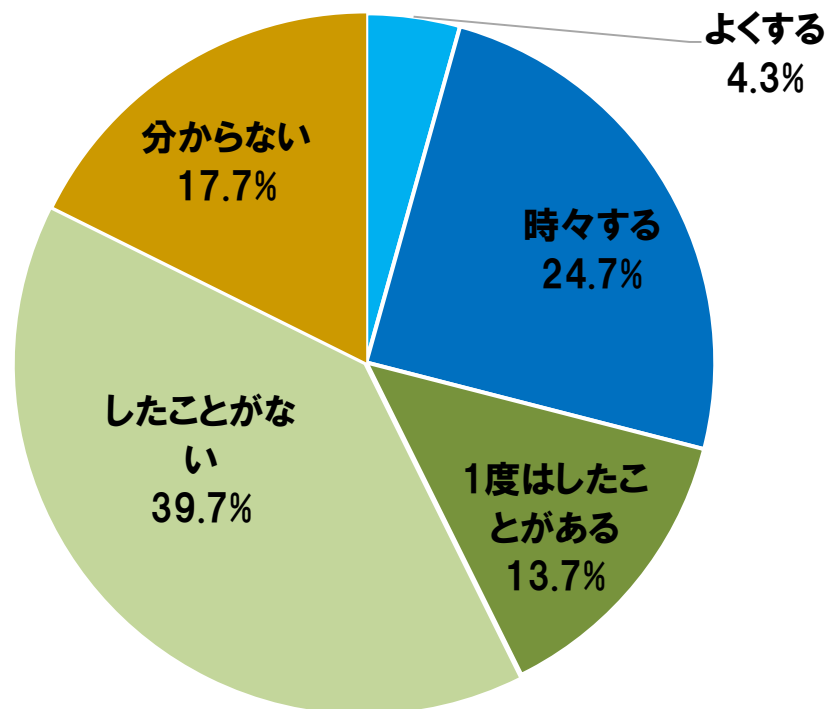
あなたは健康食品の摂取の目安量を超えて摂取をすることがありますか。

※こちらでいう「健康食品」は、トクホ・機能性表示食品を始め、各種サプリメントなど、健康の保持増進に役立つとされるものを広く含みます。

機能性表示食品  
使用経験有と回答  
300名

“目安量を超えて  
摂取している可能性”  
60.3%

目安量を超えて 摂取している可能性	あり	なし	全体
機能性表示食品の 使用経験	60.3%	41.3%	50.8%
医療用医薬品・ 一般用医薬品の 使用状況 (継続・一時的)	51.4%	49.8%	



# その他の結果

## 【健康食品に関する知識】

- ・副作用被害救済制度の対象と思っている人、または知らない人が約8割
- ・分量にばらつきがあることを理解していない人が約4割

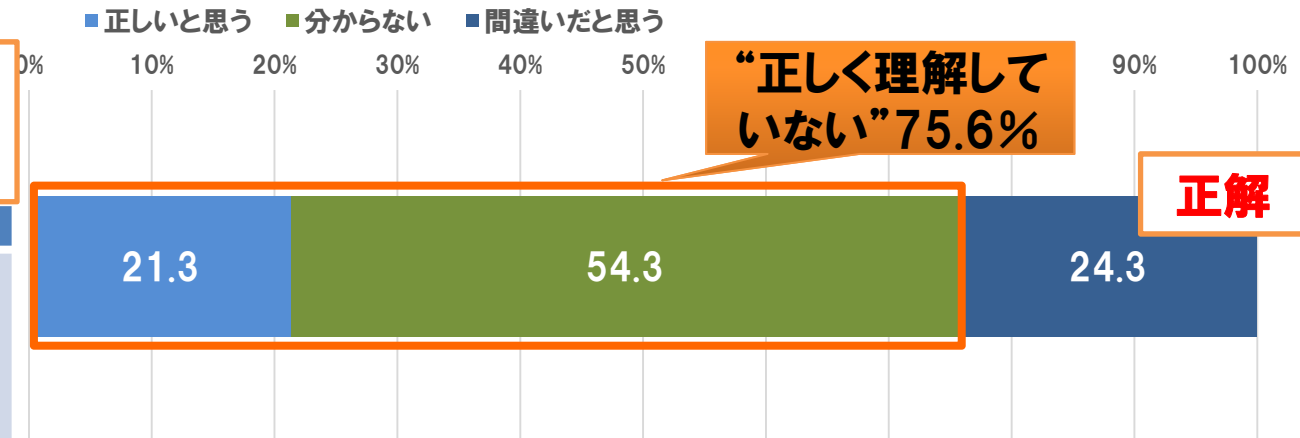
全体 600名

下記の健康食品に関する記載について、  
あなたは正しいと思いますか、それとも間違っていると思われますか。

※こちらでいう「健康食品」は、トクホ・機能性表示食品を始め、各種サプリメントなど、健康の保持増進に役立つとされるものを広く含みます。

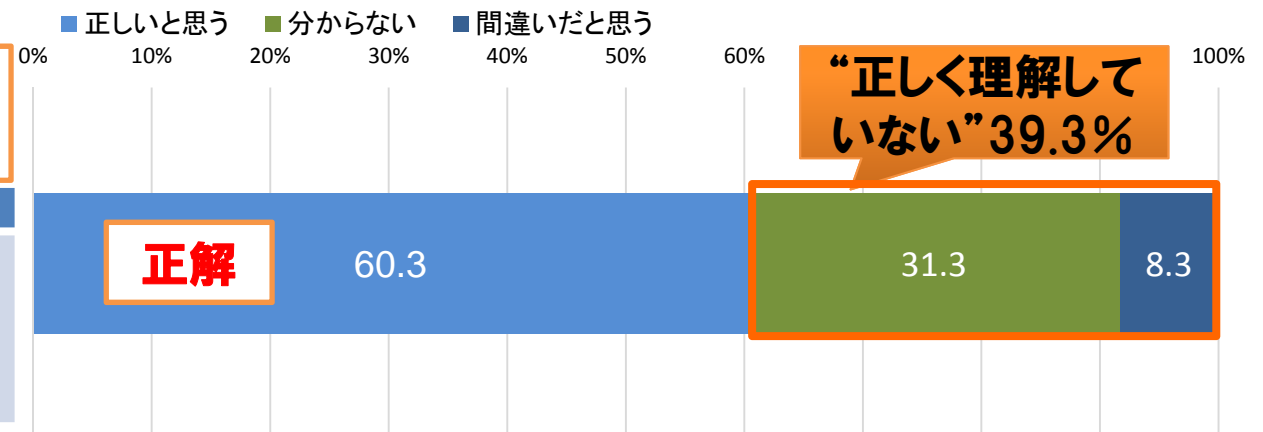
国が認可しており、  
副作用被害救済制度の対象となる

正解率	あり	なし	全体
機能性表示食品の使用経験	27.0%	21.7%	24.3%
医療用医薬品・一般用医薬品の使用状況（継続・一時的）	27.8%	18.1%	



同じ機能がうたわれていても、含まれる成分の量にはばらつきがある

正解率	あり	なし	全体
機能性表示食品の使用経験	70.7%	50.0%	60.3%
医療用医薬品・一般用医薬品の使用状況（継続・一時的）	68.6%	45.6%	





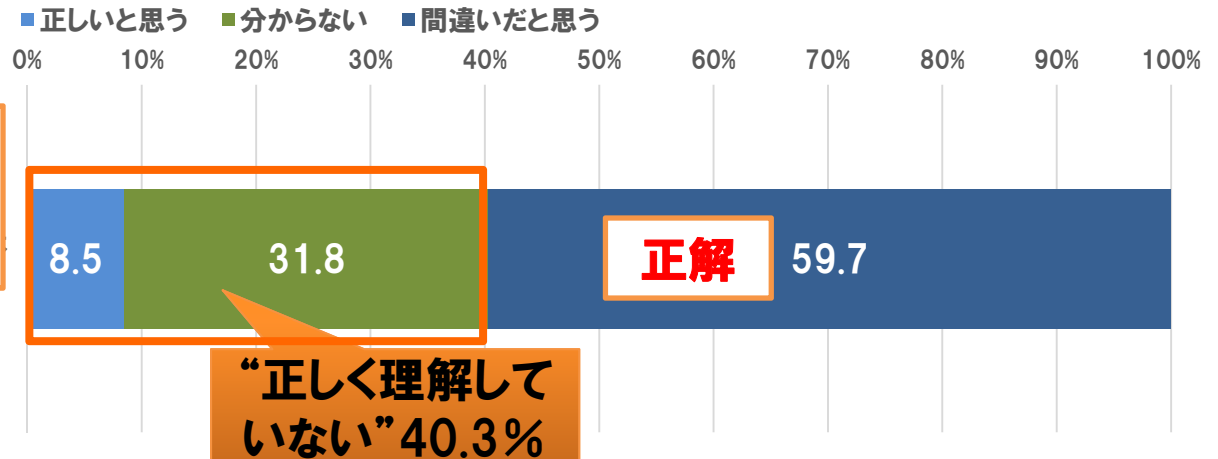
## 【健康食品に関する知識】

・目安量より多く摂取してはいけないことを理解していない人は約4割

下記の健康食品に関する記載について、  
あなたは正しいと思いますか、それとも間違っていると思われますか。

※こちらでいう「健康食品」は、トクホ・機能性表示食品を始め、各種サプリメントなど、健康の保持増進に役立つとされるものを広く含みます。

全体 600名



医薬品ほど効き目が強くないので、  
記載されている目安量より多く摂取しても問題はない

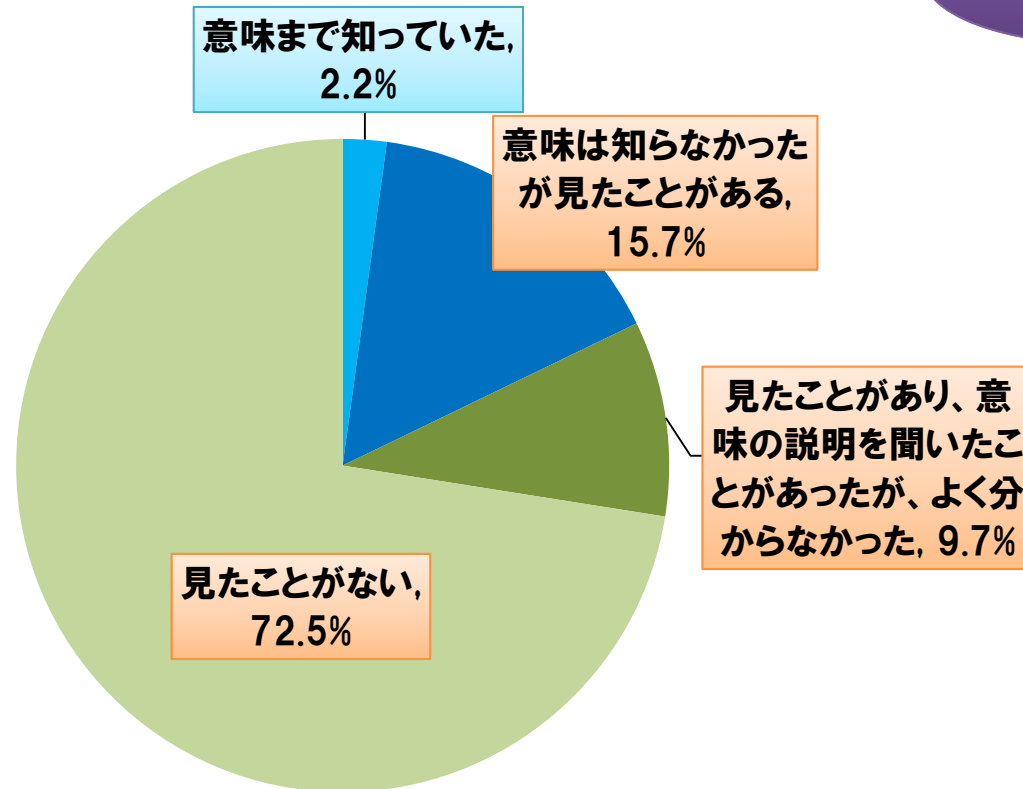
正解率	あり	なし	全体
機能性表示食品の使用経験	67.7%	51.7%	59.7%
医療用医薬品・一般用医薬品の使用状況（継続・一時的）	67.3%	46.0%	

# 【「GMPマーク」の認知】

・約7割の人がGMPマークを見たことがなく、98%がその意味を知らない

「GMPマーク」は製品の安全性と品質が保たれていることを示すマークです。  
あなたの理解・状態に一番近いものをお答えください。

全体 600名



**“意味を知らない”  
97.8%**

“意味を知らない”割合	あり	なし	全体
機能性表示食品の使用経験	96.3%	99.3%	97.8%
医療用医薬品・一般用医薬品の使用状況 (継続・一時的)	97.7%	98.7%	

## 【健康食品等を選択する際の表示の読み方】

設問： あなたが以下の状況だった場合の考えをお聞かせください。

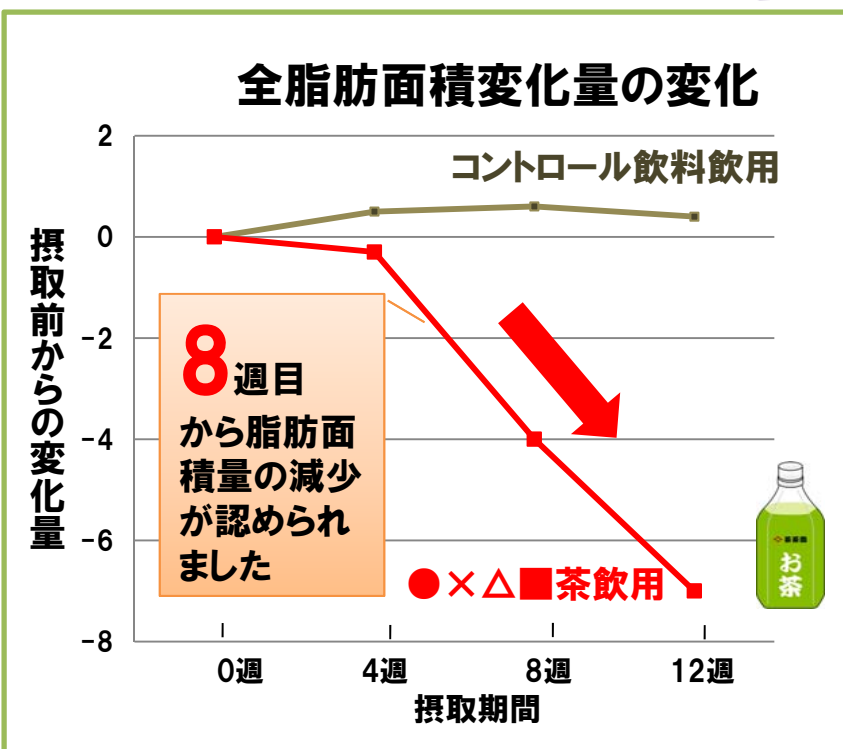
全体 600名

あなたは前回の健康診断で体脂肪率が高く「肥満」と診断されました。

最近よく広告で見かける、体脂肪を減らすという健康食品「●×△■茶(商品名)」が気になっています。

その広告には、右のようなグラフが示されていました。

これを見てあなたは「●×△■茶(商品名)」を飲んでみたいと思いますか。理由も教えてください。



※被験者：健康な20代～60代の成人男女30名

## 【健康食品等を選択する際の表示の読み方】

- ・商品広告に掲載されたグラフを見て安易に飲んでみたいと思う人が約4割
- ・機能性表示食品を使用経験有と回答した群では、経験無群の3倍に

グラフを見てあなたは「●×△■茶(商品名)」を飲んでみたいと思いますか。

全体 600名

飲んでみたい	あり	なし	全体
機能性表示食品の使用経験	61.3%	19.3%	40.3%
医療用医薬品・ 一般用医薬品の 使用状況 (継続・一時的)	47.5%	27.4%	

分からない・判断がつかない,  
33.7%

飲んでみたい,  
40.3%

飲みたくない,  
26.0%

機能性表示食品  
使用経験有と回答  
300名

分からない・判断が  
つかない  
25.0%

飲んで  
みたい  
61.3%

飲みたく  
ない  
13.7%

## 【健康食品等を選択する際の表示の読み方】

- ・商品広告に掲載されたグラフを見て安易に効果があると感じ、飲んでみたいと思う人が約4割

グラフを見てあなたは「●×△■茶(商品名)」を飲んでみたいと思いますか。

### 「飲んでみたい」(242名)と回答した理由(抜粋)

効果がありそう、体脂肪が減りそうなので試してみたい

身体にいいような気がする、健康になりたい

グラフや数値で効果が明確に実証されているので

生活に取り入れやすい、楽にダイエットできそう、飲むだけなら簡単

少なくとも悪影響は無いと考えられるから

## 【健康食品等を選択する際の表示の読み方】

- ・商品広告に掲載されたグラフを見て安易に効果があると感じ、飲んでみたいと思う人が約4割

グラフを見てあなたは「●×△■茶(商品名)」を飲んでみたいと思いますか。

「飲みたくない」(156名)と回答した理由(抜粋)

必要がない・関心が無い

商品価格が高すぎるので続けられない

食事や運動で対処する

健康食品は信じていない・頼りたくない・効果があるか分からない・余分なものは口にしない

お茶だけでは痩せないはず

グラフが急に下がり過ぎるのが信用出来ない

どれだけの量を飲んだ結果こうなったのかよくわからない

グラフに統計的な説明が必要・変化の単位が不明・被験者サンプル数が30名しかおらず、一般的にするには少なすぎる

個人差があるのでは

若い人と高齢者の摂取判断は難しい

売り文句に過ぎない

お茶を飲んだことがあるが、効果がなく体調不良になった・一度も良かったと思えなかった

## 【健康食品等を選択する際の表示の読み方】

- ・商品広告に掲載されたグラフを見て安易に効果があると感じ、飲んでみたいと思う人が約4割

グラフを見てあなたは「●×△■茶(商品名)」を飲んでみたいと思いますか。

「わからない・判断がつかない」(202名)と回答した理由(抜粋)

必要がない・関心が無い

費用対効果が不明

使用する期間が長すぎる

個体差や、自分に効果があるか不明

お茶以外の要素があるのではないかと

そもそも健康食品に頼りたくない

広告だけでなく飲んでいる人のコメントが欲しい・周りに飲んでいる人がいない

出来るだけ食品から摂りたい

グラフは急激に減り過ぎる・データの絶対数が足りていない・「全脂肪面積」が分からない・トクホなのか機能性表示食品なのか読み取れない・どの程度脂肪量が減ったか不明

具体的にもっと情報を知りたい・会社や効き目の説明を読まないと分からない

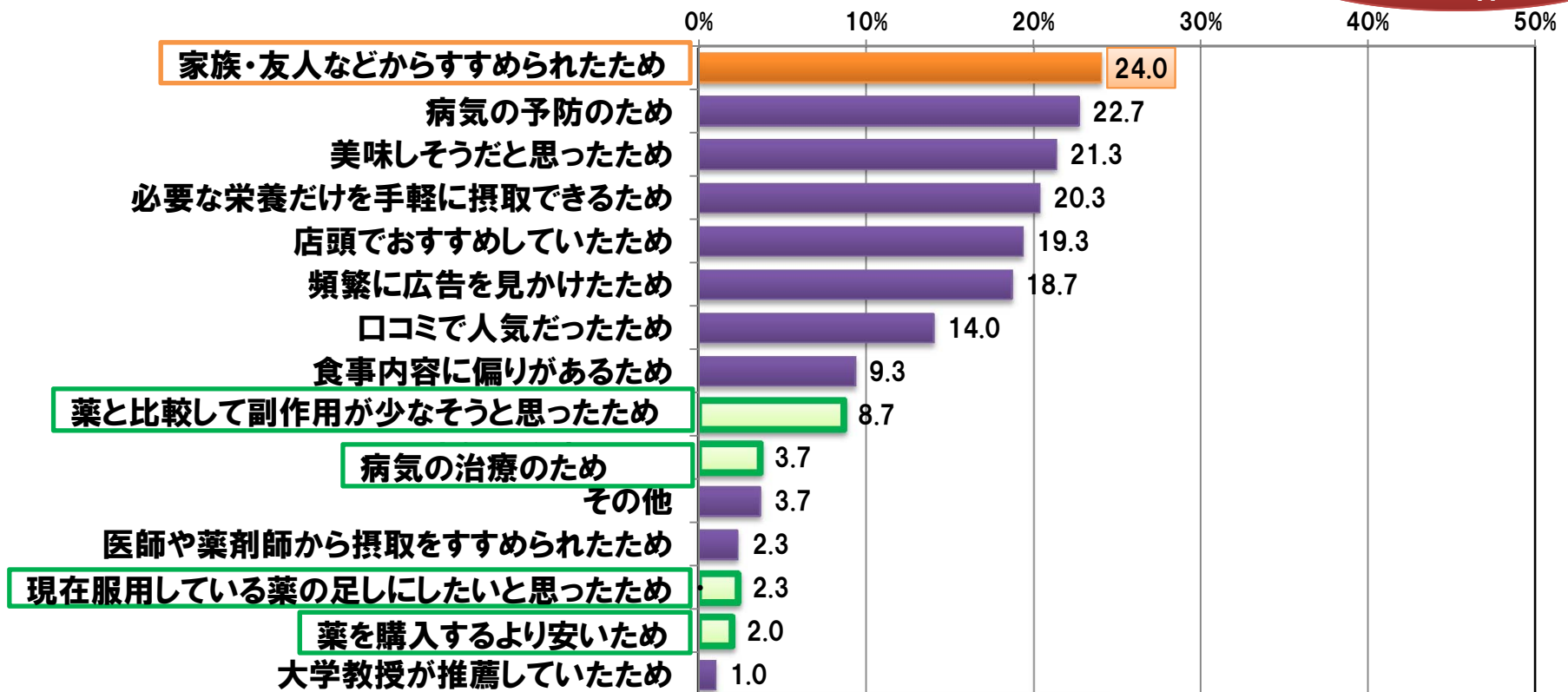
経験がない・(飲もうと)考えたことがない

## 【機能性表示食品の購入背景】

- ・一番の購入理由は「家族・友人などからのすすめ」
- ・「病気の治療」のためなど、本来の目的以外の理由で購入している人が一定数存在

機能性食品を使用した経験があるとお答えの方にお伺いします。  
あなたが機能性食品を使用するに至った背景をお答えください。(複数回答)

機能性表示食品  
使用経験有と回答  
300名



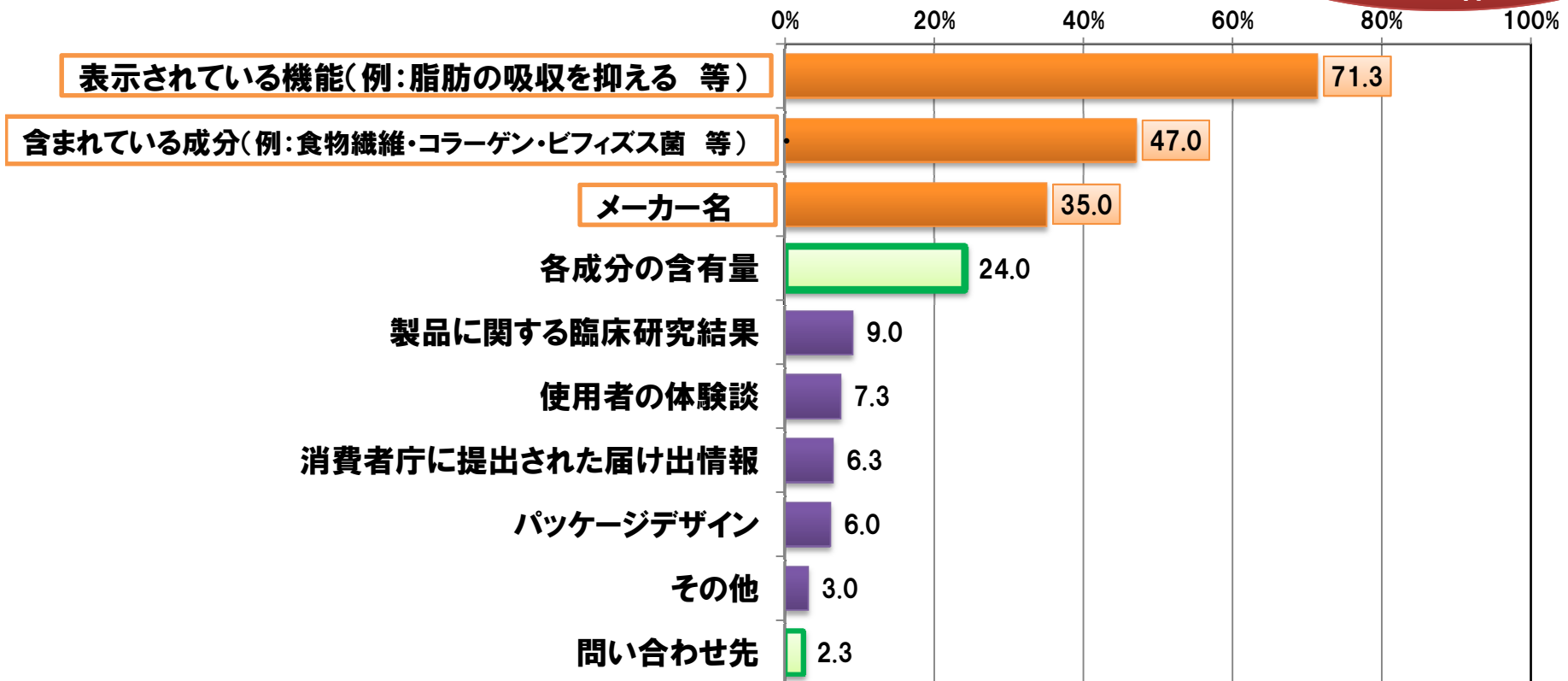


## 【機能性表示食品の選択ポイント】

- ・1位は「機能」で約7割、2位「成分」、3位「メーカー」
- ・選択時に重視すべき「分量」や「問い合わせ先」はあまり重視されていない

機能性表示食品を使用した経験があるとお答えの方にお伺いします。  
機能性表示食品を選択する際に重視するポイントを教えてください。(複数回答)

機能性表示食品  
使用経験有と回答  
300名

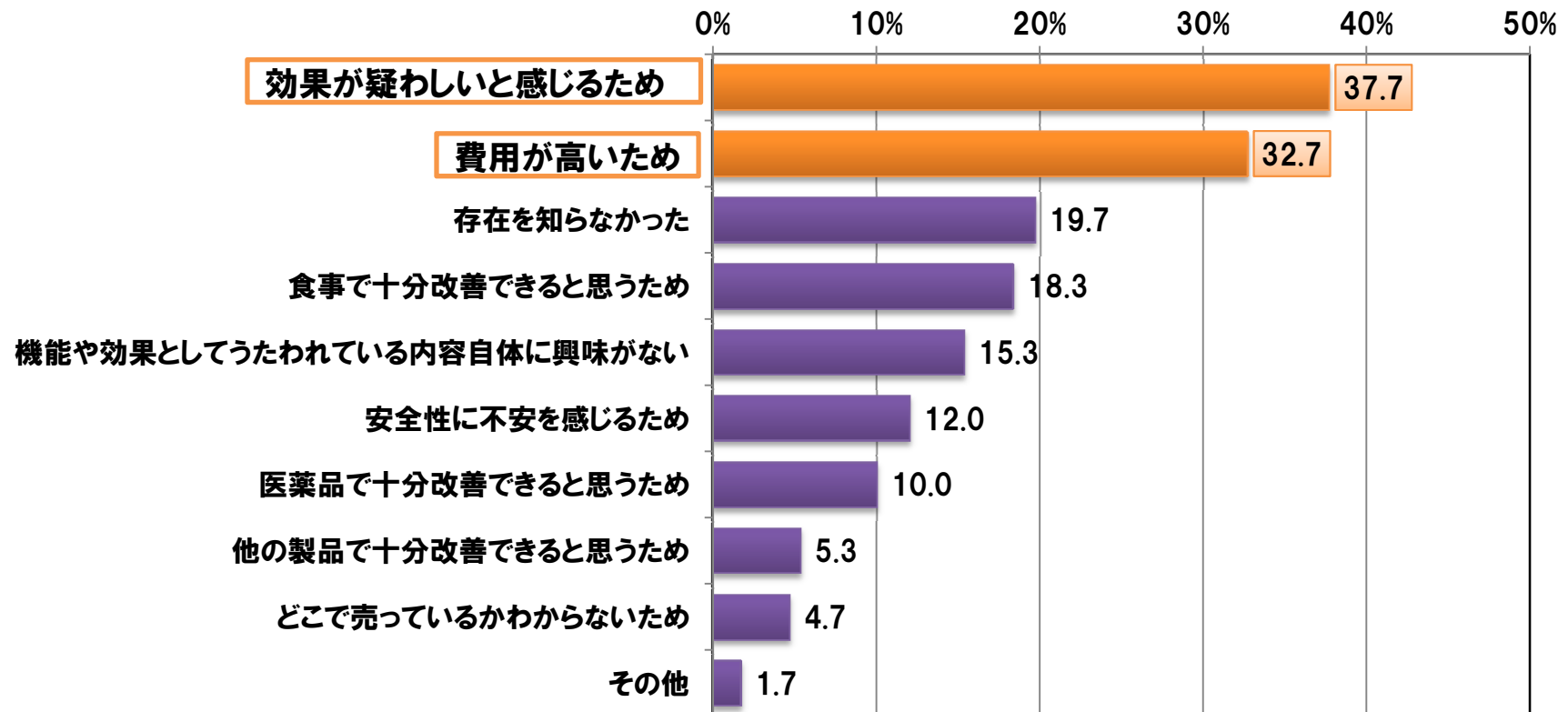


## 【機能性表示食品を購入しない理由】

- ・購入しない理由は、効果を信用していない、  
また他製品と比較して費用が高いため

機能性表示食品を使用したことがないとお答えの方にお伺いします。  
あなたが機能性表示食品を購入しない理由をお答えください。(複数回答)

機能性表示食品  
使用経験無と回答  
300名



## 【セルフケア】

- ・「セルフケア」を実践する上で、健康食品を摂取を挙げる人は半数以上
- ・1位「バランスの取れた食生活」、2位「適度な運動」、3位「定期的な健康診断」を実行

「セルフケア」とは、「自分自身の健康は責任をもって守り、身体の不調を自身で予防したり、手当てしたりすること」です。「セルフケア」に関わる下記の項目に関して、あなたの実行状況・お考えに最も当てはまるものをお答えください。

